

## クラシックリブパネル ラウンド・エッジ

toolbox

### 目次

施工前にご確認ください	1
寸法図	
施工手順	2
施工後の注意点	3

### 安全のために必ずお守りください

施工前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しく組み立てを行ってください。  
ここに示した注意事項は、製品を安全に施工し、あなたや他の人々への被害や損害を未然に防止するために重要な内容ですので、必ず守ってください。

株式会社 TOOLBOX

URL [www.r-toolbox.jp](http://www.r-toolbox.jp)  
E-mail [contact@r-toolbox.jp](mailto:contact@r-toolbox.jp)

# 施工前にご確認ください

## ■ 到着したら

- 製品の品番、数量に誤りが無いか、また損傷が無いかご確認ください。
- 含水率を現場環境に馴染ませるため、施工する1週間程前には現場にて開梱してください。
- 保管は水のかかりやすい場所、湿気が多い場所、直射日光のあたる場所を避けてください。
- 水平な場所で保管してください。反りや曲がりの原因となりますので、壁に立てかけたり、地面に直接置かないでください。

## ■ 下地について

- コンクリートやタイル面への直貼りは、下地水分による変色、劣化の恐れがありますので避けてください。
- 柱、間柱、胴縁は、乾燥したソリがないものを使用し、合板の継ぎ目と羽目板の継ぎ目が重ならないように割り付けてください。
- 石膏ボードに施工する場合は、石膏ボードの継ぎ目と羽目板の継ぎ目が重ならないようにしてください。
- 合板・石膏ボードに施工する場合は、釘の保持力が十分にあるものを使用してください。

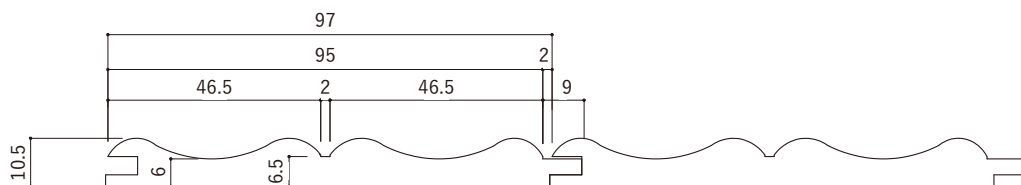
## ■ 仮並べについて

- 天然木の為、同じ物は二つとしてありません。必ず仮並べをした後に施工に入ってください。
- 色むら、木目違いがありますので、施工前に仮並べし色柄を調整してください。傷や塗装の塗りムラがないか等も確認してください。
- 部屋の形状及び張り方向のデザインに応じて隅の納まりを考慮し、極端な小幅材が出ないように割り付けを行ってください。
- 木口部分をつなぐ際、微妙な巾違いが見られるケースがあります。仮並べをして木口部分の巾合わせを行ってください。

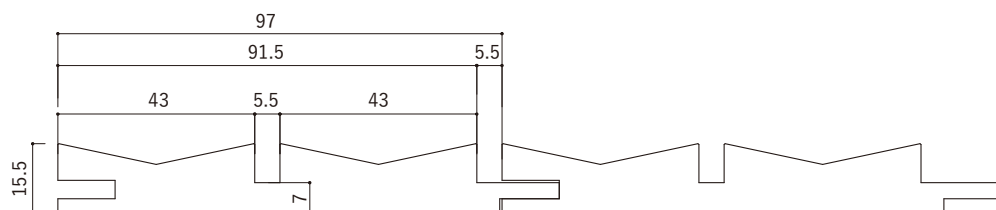
# 寸法図

## ■ 断面図

ラウンド



エッジ



# 施工手順

羽目板の施工には、必ず接着剤と釘(ステープルまたはフィニッシュネイル)の併用をしてください。

接着剤 … 1液型ウレタン樹脂系の木質床用を推奨します。

※ 酢酸ビニルエマルジョン系(木工用ボンド)は厳禁です。

水性のため羽目板の膨張による反りなどの原因となります。

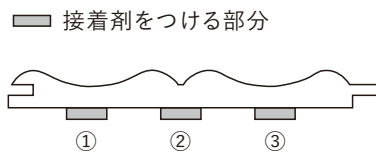
## ■ 張り込み

羽目板の巾方向の膨張を和らげるため、環境に応じて突き付けをゆるめにしてください。

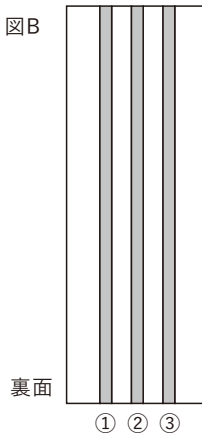
## ■ 接着剤の塗布

- 接着剤は、下地のボードに塗布せず、羽目板一枚ずつに塗るようにしてください。  
※ 一度に全ての板に塗ってからの施工は避けてください。
- 【図 A・B】を参照に、釘の適過面・材の中心・雌実下内側の3箇所に筋状に塗布してください。

図A



図B

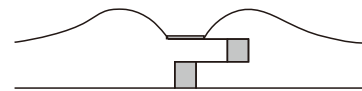


材の長さ方向に沿って、  
筋状に塗布

### ⚠ 注意

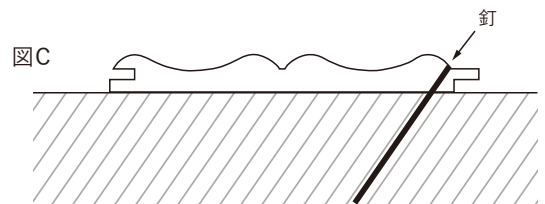
実部分への接着剤の塗布は厳禁です。  
一箇所に大きな隙間を引き起こす原因になります。

✕ 実部の接着は厳禁



## ■ 釘の打ち込み

- 釘は、30mmまたは35mmの長さを目安に使用してください。
- 釘は、【図 C】を参照し、材の中央方向へ向かって斜めに打ち込んでください。



# 施工後の注意点

---

- 施工後、塗装剥がれの原因となりますので直接養生シートを貼らないでください。
- 無垢材の為、湿度、温度(日当たり)により、伸縮・ソリ等が生じる恐れがあります。
- 鴨居、窓枠、ドア枠などは、羽目板と密着させず、若干のクリアランスを空けて施工してください。

[www.r-toolbox.jp](http://www.r-toolbox.jp)

---

---